



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年4月30日

上場会社名 ヤスハラケミカル株式会社  
 コード番号 4957 URL <http://www.yschem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安原 禎二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部長 (氏名) 敷田 憲治  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月16日 配当支払開始予定日 2020年6月17日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月17日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0847-45-3530

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	12,209	△13.3	139	△83.1	191	△80.4	△0	—
2019年3月期	14,080	8.9	826	△16.8	975	△7.7	469	4.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△0.08	—	△0.0	0.8	1.1
2019年3月期	45.69	—	2.5	4.1	5.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	25,836	18,519	71.7	1,802.43
2019年3月期	23,563	18,802	79.8	1,829.97

(参考) 自己資本 2020年3月期 18,519百万円 2019年3月期 18,802百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△1,291	△745	2,826	2,879
2019年3月期	△524	△63	△813	2,102

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00	123	26.3	0.7
2020年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00	123	—	0.7
2021年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00		—	

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,791	△6.3	△88	—	△57	—	△61	—	△6.03
通期	11,313	△7.3	△83	—	△33	—	△41	—	△4.07

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	10,839,663 株	2019年3月期	10,839,663 株
② 期末自己株式数	2020年3月期	565,034 株	2019年3月期	564,977 株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	10,274,672 株	2019年3月期	10,274,686 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての獣医事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用、所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、各国間の通商問題や消費税増税の影響に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による世界経済の減速により不透明感が一層強まる状況となりました。

当社が関係しております粘着・接着・香料・電子材料・ラミネート業界におきましては、国内市場における需要の低迷や継続的な原材料高、企業間における価格競争等により、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、市場ニーズの変化を把握し、高付加価値製品の開発及び国内外の新規市場開拓に積極的に取り組み、販売の拡大に努める一方、原価低減や生産効率の向上、業務の合理化をはかり、収益の確保に努めてまいりましたが、原材料価格の高騰や事業環境の低迷により業績に大きな影響を受けました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高12,209百万円（前年同期比13.3%減）、営業利益139百万円（同83.1%減）、経常利益191百万円（同80.4%減）、当期純損失0百万円（前年同期は当期純利益469百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ・テルペン化学製品

粘着・接着用樹脂においては、自動車用品用途のテルペンフェノール樹脂及び包装用途の変性テルペン樹脂に加えテープ用途のテルペン樹脂が低調に推移したことにより減収となりました。化成品においては、香料分野及び電子材料分野に加え塗料用途の化学品が低調に推移したことにより減収となりました。この結果、当事業全体の売上高は9,419百万円（同16.5%減）、営業利益754百万円（同51.2%減）となりました。

#### ・ホットメルト接着剤

ホットメルト接着剤においては、生活用品用途及び自動車部品用途の接着剤が低調に推移したものの、食品用途の押出グレード及び工業用途のマスターバッチが好調に推移したことにより増収となりました。この結果、当事業全体の売上高は2,540百万円（同0.6%増）、営業利益192百万円（同24.3%増）となりました。

#### ・ラミネート品

ラミネート品においては、光沢化工紙用ラミネートフィルムが低調に推移したことにより減収となりました。この結果、当事業全体の売上高は248百万円（同9.0%減）、営業利益19百万円（同353.4%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産、負債及び純資産の状況

当事業年度末の資産につきましては、前事業年度末に比べ2,272百万円増加し25,836百万円となりました。これは主に、売掛金及び投資有価証券が減少した一方、原材料及び貯蔵品に加え現金及び預金の増加によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ2,555百万円増加し7,317百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ283百万円減少し18,519百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金及び利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、たな卸資産の増加による資金の減少があった一方で、長期借入れによる獲得の増加があったことにより、前事業年度末に比べ777百万円増加し、当事業年度末には2,879百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,291百万円(前年同期は524百万円の使用)となりました。これは主に、たな卸資産の増減額によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は745百万円(前年同期は63百万円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による獲得があった一方で、定期預金の預入及び有形固定資産の取得による使用があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は2,826百万円(前年同期は813百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる獲得があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	83.5	83.5	76.8	79.8	71.7
時価ベースの 自己資本比率 (%)	31.4	36.0	32.5	30.9	19.2
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	0.8	0.4	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	196.7	407.6	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国内経済・世界経済ともに一層激しさが増すものと予測されます。景気回復は新型コロナウイルスの収束状況に左右され、更なる経済環境の悪化も想定されるなど先行き不透明な状況が続くものと思われま。

このような状況において当社は、翌事業年度(2021年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高11,313百万円(前年同期比7.3%減)、営業損失83百万円(前年同期は営業利益139百万円)、経常損失33百万円(前年同期は経常利益191百万円)、当期純損失41百万円(前年同期は当期純損失0百万円)を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、新型コロナウイルス感染症による影響は現時点において合理的に算定することが困難なため織り込んでおりません。

上記の見通しにおいて、新型コロナウイルス感染症の拡大または収束により、事業活動に大きな影響を及ぼす場合には、速やかに業績見通しの修正開示を行います。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,605,871	3,884,220
売掛金	2,973,965	2,286,095
製品	2,312,259	2,335,554
仕掛品	1,321,934	1,135,505
原材料及び貯蔵品	6,245,381	8,260,743
前渡金	337,232	642,875
前払費用	24,533	40,749
未収還付法人税等	—	87,212
その他	74,983	110,079
貸倒引当金	△2,973	△2,286
流動資産合計	15,893,188	18,780,749
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,692,740	2,691,617
減価償却累計額	△1,738,535	△1,782,198
建物(純額)	954,204	909,419
構築物	2,870,561	2,898,107
減価償却累計額	△2,402,433	△2,456,769
構築物(純額)	468,128	441,337
機械及び装置	10,338,272	10,781,633
減価償却累計額	△9,496,841	△9,735,043
機械及び装置(純額)	841,430	1,046,590
車両運搬具	106,224	106,950
減価償却累計額	△100,138	△101,302
車両運搬具(純額)	6,086	5,647
工具、器具及び備品	1,120,481	1,145,914
減価償却累計額	△1,050,215	△1,064,652
工具、器具及び備品(純額)	70,265	81,261
土地	2,891,014	2,875,411
建設仮勘定	152,005	—
有形固定資産合計	5,383,135	5,359,668
無形固定資産		
ソフトウェア	89,143	71,397
その他	4,357	3,025
無形固定資産合計	93,500	74,422
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149,000	761,173
出資金	100	100
長期前払費用	11,525	7,907
繰延税金資産	379,680	158,417
その他	663,407	703,642
貸倒引当金	△9,642	△9,642
投資その他の資産合計	2,194,071	1,621,598
固定資産合計	7,670,707	7,055,688
資産合計	23,563,895	25,836,438

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	416,073	453,681
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	439,992	1,240,020
リース債務	10,960	10,960
未払金	509,089	338,306
未払費用	4	8
未払法人税等	149,528	5,764
前受金	12,575	9,789
預り金	39,922	26,080
賞与引当金	138,235	100,310
環境対策引当金	77,693	—
その他	6,512	6,927
流動負債合計	2,400,586	2,791,847
固定負債		
長期借入金	1,320,016	3,479,975
リース債務	24,529	13,568
退職給付引当金	474,379	464,511
役員退職慰労引当金	532,494	558,526
その他	9,525	8,726
固定負債合計	2,360,944	4,525,308
負債合計	4,761,531	7,317,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789,567	1,789,567
資本剰余金		
資本準備金	1,728,997	1,728,997
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	16	16
資本剰余金合計	1,729,013	1,729,013
利益剰余金		
利益準備金	138,000	138,000
その他利益剰余金		
別途積立金	14,807,000	15,147,000
繰越利益剰余金	420,506	△43,613
利益剰余金合計	15,365,506	15,241,386
自己株式	△391,877	△391,916
株主資本合計	18,492,210	18,368,051
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	310,154	151,230
評価・換算差額等合計	310,154	151,230
純資産合計	18,802,364	18,519,281
負債純資産合計	23,563,895	25,836,438

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	14,080,228	12,209,172
売上原価		
製品期首たな卸高	2,046,750	2,312,259
当期製品製造原価	11,498,411	10,163,638
合計	13,545,161	12,475,897
他勘定払出高	4,110	4,516
製品期末たな卸高	2,312,259	2,335,554
製品売上原価	11,228,791	10,135,827
売上総利益	2,851,436	2,073,344
販売費及び一般管理費	2,025,291	1,933,404
営業利益	826,145	139,940
営業外収益		
受取利息	23,636	27,298
受取配当金	21,738	21,544
受取家賃	17,830	18,750
為替差益	56,079	—
その他	43,330	23,750
営業外収益合計	162,614	91,344
営業外費用		
支払利息	7,629	9,820
為替差損	—	24,735
手形売却損	5,937	4,371
その他	29	1,043
営業外費用合計	13,596	39,970
経常利益	975,163	191,313
特別利益		
固定資産売却益	3,539	18
投資有価証券売却益	—	77,883
投資有価証券償還益	—	1,124
環境対策引当金戻入額	—	35,393
特別利益合計	3,539	114,419
特別損失		
固定資産処分損	20,791	6,493
投資有価証券償還損	200	—
減損損失	238,791	—
環境対策費	25,148	—
特別損失合計	284,932	6,493
税引前当期純利益	693,771	299,239
法人税、住民税及び事業税	226,317	23,368
法人税等調整額	△2,018	276,695
法人税等合計	224,298	300,063
当期純利益又は当期純損失(△)	469,472	△823



(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
		自己株式処分差益			別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,789,567	1,728,997	16	1,729,013	138,000	14,477,000	404,330	15,019,330
当期変動額								
別途積立金の積立						330,000	△330,000	—
剰余金の配当							△123,296	△123,296
当期純利益又は当期純損失(△)							469,472	469,472
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	330,000	16,176	346,176
当期末残高	1,789,567	1,728,997	16	1,729,013	138,000	14,807,000	420,506	15,365,506

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△391,877	18,146,034	435,611	435,611	18,581,645
当期変動額					
別途積立金の積立		—			—
剰余金の配当		△123,296			△123,296
当期純利益又は当期純損失(△)		469,472			469,472
自己株式の取得	—	—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△125,457	△125,457	△125,457
当期変動額合計	—	346,176	△125,457	△125,457	220,719
当期末残高	△391,877	18,492,210	310,154	310,154	18,802,364

当事業年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
			自己株式処 分差益			別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	1,789,567	1,728,997	16	1,729,013	138,000	14,807,000	420,506	15,365,506
当期変動額								
別途積立金の積立						340,000	△340,000	—
剰余金の配当							△123,296	△123,296
当期純利益又は当期純損失 (△)							△823	△823
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動 額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	340,000	△464,120	△124,120
当期末残高	1,789,567	1,728,997	16	1,729,013	138,000	15,147,000	△43,613	15,241,386

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△391,877	18,492,210	310,154	310,154	18,802,364
当期変動額					
別途積立金の積立		—			—
剰余金の配当		△123,296			△123,296
当期純利益又は当期純損失 (△)		△823			△823
自己株式の取得	△39	△39			△39
株主資本以外の項目の当期変動 額(純額)			△158,923	△158,923	△158,923
当期変動額合計	△39	△124,159	△158,923	△158,923	△283,082
当期末残高	△391,916	18,368,051	151,230	151,230	18,519,281

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	693,771	299,239
減価償却費	475,751	471,710
減損損失	238,791	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	272	△687
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,781	△37,925
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,328	△9,867
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	26,032	26,032
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△86,823	△77,693
受取利息及び受取配当金	△45,374	△48,842
支払利息	7,629	9,820
為替差損益 (△は益)	△34,802	11,702
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△77,883
投資有価証券償還損益 (△は益)	200	△1,124
固定資産売却損益 (△は益)	△3,539	△18
固定資産処分損益 (△は益)	20,791	6,493
売上債権の増減額 (△は増加)	△272,927	687,870
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,518,473	△1,852,227
前渡金の増減額 (△は増加)	△1,328	△305,642
仕入債務の増減額 (△は減少)	△116,807	37,607
その他	110,012	△221,000
小計	△504,372	△1,082,436
利息及び配当金の受取額	46,014	46,943
利息の支払額	△7,427	△10,171
法人税等の支払額	△58,363	△246,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	△524,150	△1,291,696
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	241,906	△501,241
有形固定資産の取得による支出	△345,874	△445,594
有形固定資産の売却による収入	156,421	15,620
無形固定資産の取得による支出	△13,979	△26,520
投資有価証券の取得による支出	△232,573	△5,258
投資有価証券の売却による収入	177	145,954
投資有価証券の償還による収入	211,249	111,783
保険積立金の積立による支出	△80,451	△47,909
その他	—	7,566
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,125	△745,599
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	4,000,000
長期借入金の返済による支出	△680,040	△1,040,013
リース債務の返済による支出	△11,061	△10,960
自己株式の純増減額 (△は増加)	—	△39
配当金の支払額	△122,698	△122,881
財務活動によるキャッシュ・フロー	△813,800	2,826,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	34,802	△11,702
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,366,273	777,107
現金及び現金同等物の期首残高	3,468,320	2,102,046
現金及び現金同等物の期末残高	2,102,046	2,879,154

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業の内容や製品別のセグメントから構成されており、「テルペン化学製品事業」、「ホットメルト接着剤事業」及び「ラミネート品事業」の3つを報告セグメントとしております。

「テルペン化学製品事業」は、粘着・接着用樹脂及び化成品の製造・販売を行っており、「ホットメルト接着剤事業」は当社が製造している粘着・接着用樹脂等を使用しホットメルト型の接着剤を製造・販売しております。「ラミネート品事業」は当社が製造しているホットメルト接着剤等を使用して、光沢化工紙用等のラミネート品を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は帳簿価額に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前事業年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	テルペン化学製品	ホットメルト接着剤	ラミネート品	計	
売上高					
外部顧客への売上高	11,281,578	2,525,298	273,350	14,080,228	14,080,228
セグメント間の内部売上高又は振替高	87,644	58,484	—	146,129	146,129
計	11,369,223	2,583,782	273,350	14,226,357	14,226,357
セグメント利益	1,546,038	154,607	4,380	1,705,026	1,705,026
セグメント資産	16,988,232	1,209,944	295,057	18,493,234	18,493,234
その他の項目					
減価償却費	419,689	8,565	10,388	438,643	438,643
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	265,011	3,145	94	268,251	268,251

当事業年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	テルペン化学製品	ホットメルト接着剤	ラミネート品	計	
売上高					
外部顧客への売上高	9,419,729	2,540,623	248,820	12,209,172	12,209,172
セグメント間の内部売上高又は振替高	137,124	61,446	—	198,570	198,570
計	9,556,853	2,602,069	248,820	12,407,743	12,407,743
セグメント利益	754,366	192,201	19,860	966,427	966,427
セグメント資産	18,438,476	1,258,431	250,029	19,946,937	19,946,937
その他の項目					
減価償却費	413,510	15,191	639	429,340	429,340
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	420,892	9,820	626	431,339	431,339

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	14,226,357	12,407,743
セグメント間取引消去	△146,129	△198,570
財務諸表の売上高	14,080,228	12,209,172

(単位：千円)

利益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	1,705,026	966,427
全社費用 (注)	△878,881	△826,487
財務諸表の営業利益	826,145	139,940

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	18,493,234	19,946,937
全社資産 (注)	5,070,661	5,889,500
財務諸表の資産合計	23,563,895	25,836,438

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない主に現金及び預金であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	438,643	429,340	37,108	42,369	475,751	471,710
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	268,251	431,339	41,159	10,200	309,411	441,540

(注) 1. 減価償却費の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社の設備投資額であります。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,829.97円	1,802.43円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	45.69円	△0.08円

(注) 1. 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	469,472	△823
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	469,472	△823
普通株式の期中平均株式数(株)	10,274,686	10,274,672

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	18,802,364	18,519,281
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	18,802,364	18,519,281
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,274,686	10,274,629

(重要な後発事象)

該当事項はありません。